マップ No.2

西播磨の山城

NISHIHARIMA MOUNTAIN CASTLE

たつのこじょう

龍野古城

（別称：朝霧城、鶏籠山城など）

たつの市

90min.（往復）

見どころポイント（山城ピクトグラム）

野面積（のづらづみ）　竪堀（たてぼり）　土盛（どもり）

標高	211m
体力度	★★☆☆☆
技術度	★★★☆☆
対象	初・中級者
駐車場	龍野公園駐車場
トイレ	龍野公園内のトイレ
備考	一部急なところがございます。

龍野古城の詳細はコチラ！山城に登っている動画もcheck

【観光案内】たつの観光案内所　TEL.0791-63-9955

概 要

主な城主：赤松村秀、赤松政秀
標　　高：211m
形　　態：連郭式山城（中世）

龍野古城（前期龍野城）は、標高211メートルの鶏籠山（けいろうざん）の山頂に15世紀に赤松村秀によって築城されたのが始まりとされています。
天正5年（1577年）に羽柴秀吉の播磨侵攻によって開城となり、以降秀吉の家臣が城主を歴任することとなります。その間に城は改修され、現在見られる城の構造や石垣などが作り替えられたと考えられています。
城跡全体を見ると横堀や土塁、竪堀（たてぼり）などの山城遺構が残り、山城の雰囲気を今もなお色濃く感じ取ることができます。

【歴 史】

西播八郡の守護代を務めた龍野赤松氏の拠点として、村秀により築城されて以降、政秀、広貞、広英と4代続きましたが、秀吉の播磨侵攻の際に開城します。その後は、蜂須賀正勝、福島正則ら、秀吉一門の武将が城主となります。
江戸時代になり、寛文12年（1672年）に脇坂安政が信州飯田から龍野に入部します。その際には山頂から山麓に機能が移っており、現在の位置に龍野城が整備され、明治まで使用されました。
現在の龍野城は、昭和54年に本丸御殿などが復元され、内部を見学することができます。

発行：兵庫県西播磨県民局 県民躍動室 地域振興課
〒678-1205　兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25　TEL 0791-58-2144

LET'S GO YAMAJIRO

管内の主な山城

2026年6月改訂

復原図

「中世播磨250の山城」（中世城郭研究家 木内内則）

登山口までのアクセス

車の場合

山陽自動車道『龍野IC』 → 約10分 → 龍野公園駐車場 → 徒歩約10分 → 龍野古城登山口

電車の場合

JR姫路駅 → JR新線約25分 → JR本竜野駅 → 徒歩約25分 → 龍野古城登山口

※足に自信のない人は本丸から引き返すコースがお勧めです。
足に自信のある方は急な坂道が続きますが、本丸から南方向にある龍野城に下りるコースがお勧めです。

登山の装備と持ち物チェックリスト（一例）

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。

- ☐ タオル
- ☐ ゴミ袋
- ☐ 雨具（カッパ等）
- ☐ 絆創膏
- ☐ 着替用肌着
- ☐ 虫除けスプレー
- ☐ 水・飲料
- ☐ 登山用ステッキ

西播磨の山城御城印

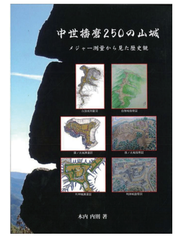
西播磨の山城イレブンの御城印を販売しています。佐用町の伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印もあります。

山城グッズ紹介一覧はこちら

在庫状況については各店にお問合せください
デザイン等、予告なく変更になる場合があります。

書籍「中世播磨250の山城」メジャー測量から見た歴史観

中世城郭研究家の木内内則（きうちただのり）氏が播磨の山城300箇所以上に登りメジャーで測量した結果をもとに、縄張り図や建物の復原図を描かれたものを掲載した山城マニア垂涎の図書。2018年に出版された内容に、西播磨の山城復活プロジェクトのために新たに描いた利神城（りかんじょう）、篠ノ丸城（ささのまるじょう）の想像復原図などが追加掲載された改訂版。



西播磨ツーリズム振興協議会

西播磨の山城　西播磨遊記　Instagram　X　You Tube

⚠山で出会う危険なもの

山登りの事前に知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

⚠ヤマビル（6月～9月は特に注意）

- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。
- 虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。
- 吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。

⚠スズメバチ（7月～10月は特に注意）

- 攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。
- スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。
- 刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。

⚠毒蛇（マムシ・ヤマカガシ）

- 藪や茂みに入らない。
- 咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。

⚠マダニ

- マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。
- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は自分で除去せず医療機関（皮膚科等）を受診しましょう。
- ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間は様子を見て、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。

⚠クマ

- クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。
- 大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見せて逃げないようにしましょう。
- 子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように！

⚠毒キノコ

- 誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。
- 外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。
- 山でキノコは採らない、食べない！を徹底しましょう。

テングタケ
食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。

ドクツルタケ
日本で見られる中では最も危険な部類の毒キノコ。誤って食べると、死亡することもある恐ろしいキノコです。

毒キノコ4原則

原則1 採らない！
原則2 食べない！
原則3 売らない！
原則4 人にあげない！